

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： GAST-141

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
胃がん (HER2陽性例)	Tmab +mFOLFOX6 (Gastric Cancer)	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	J Clin Oncol 26: 1435-44, 2008

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	トラスツズマブ 生理食塩液	6mg/kg 250mL	点滴静注	初回 90分	↓																				
	トラスツズマブ 生理食塩液	4mg/kg 100mL	点滴静注	2回目以降 30分																					
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
③	デキサート アロカリス パロノセトロン	6.6mg 235mg 0.75mg/50mL	点滴静注	30分	↓																				
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑤	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																				
⑥	エルプラット 5%ブドウ糖液	85mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																				
⑦	5-FU 5%ブドウ糖液	400mg/m ² 50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑧	5-FU 生理食塩液	2400mg/m ² 適量	点滴静注	46時間	→																				
*⑤と⑥は同時に2時間かけて投与																									

<注意事項/備考>

- ✓ 原則として、皮下埋め込みポートより投与
- ✓ オキサリプラチンはレボホリナートの側管から同時に投与

- ✓ 相互作用：フェニトイン、ワルファリンなどとの併用で、5-FUの血中濃度上昇の可能性
- ✓ 過敏症（L-OHP）：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害（L-OHP）：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）
- ✓ Tmab：初回のみ6mg/kgを90分かけて投与、2回目以降は4mg/kgを30分かけて投与（NCCNガイドライン参照）
- ✓ 心障害（Tmab）：トラスツズマブ投与中は定期的な心エコー検査などを用いて心機能評価を
- ✓ インフュージョンリアクション（Tmab）：投与中/後に悪寒、発熱、呼吸困難などの症状が生じる可能性あり。状況に応じて抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛薬などの投与を検討